



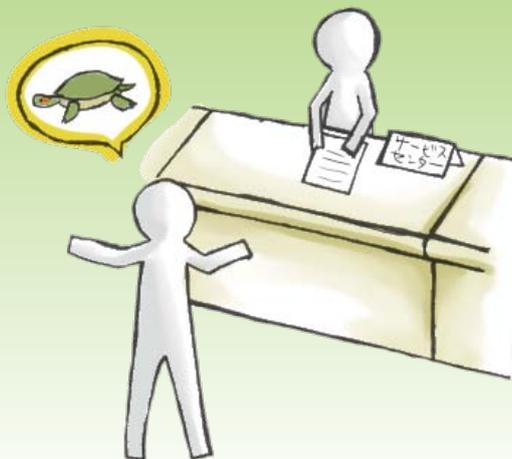
公園管理者のための

外来カメ

防除キャンペーンキット



市民と取り組む、野良アカミミガメ減量大作戦！



すぐできるよ

カンタンだよ



2011年3月

認定NPO法人 生態工房

謹製
生態工房
認定NPO法人

この冊子は三井物産環境基金の支援により製作されました。



各地の公園の池や濠で、外来生物のアカミミガメ(ミドリガメ)が増えています。ペットショップなどで売られているアカミミガメが捨てられて繁殖し、数が増えてしまったのです。あなたの公園では、アカミミガメが増えていますか？

あなたの公園、アカミミガメが増えていますか？



もし公園で次のようなことがあったら、アカミミガメが増えているのかもしれません。



たくさんのアカミミガメが日光浴していた！
見えている数よりも、もっとたくさん生息しています。



複数のカメが水面に浮かんでいた！
水面に浮かびながら静止するのはアカミミガメの特徴です。



来園者からの目撃情報が増えた！
親ガメは夏期に上陸して産卵します。子ガメは孵化すると土から這い出て水辺へ移動します。
園路や草地にカメがいたら繁殖している可能性が濃厚です。

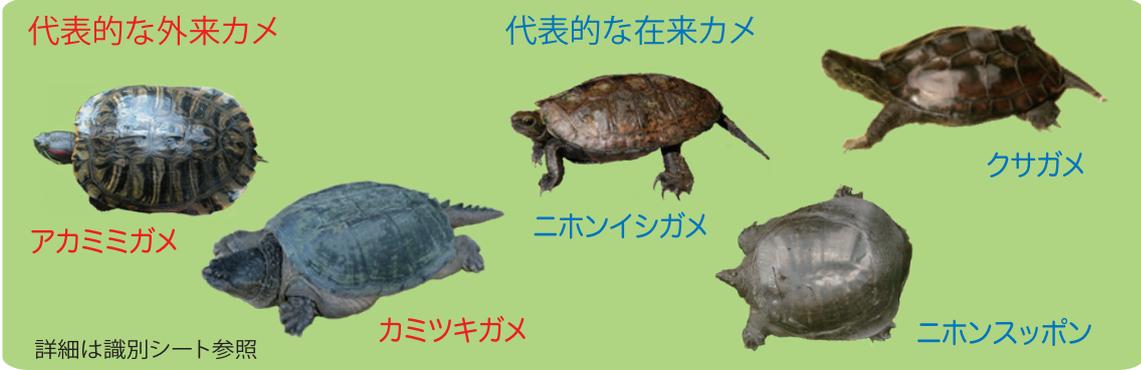


水鳥のヒナや水草が激減した！
水中から水鳥のヒナを襲い、ヒナの数を急激に減らします。
水草もよく食べます。



外来カメが増えると、こんな問題が...

在来生物は、何万年もの長い時間をかけて、地域ごとに固有の生態系...生きもの同士のつながり...を築いてきました。人間が持ち込んだ外来カメは、それまではその地域にいなかった生きものです。新天地には天敵がいなかったり、在来生物の側が対応するすべを持っていないので、生態系が壊れてしまいます。



悪影響 その① 生態系に被害を及ぼします！



在来カメへの被害

アカミミガメは、在来カメと同じようなエサや生活空間を利用しているため資源の奪い合いが起きます。また、種類によっては在来カメと交雑して雑種を作り、希少な在来カメが子孫を残せなくなってしまいます。



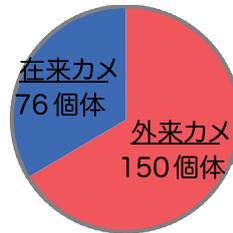
水辺の生物への被害

アカミミガメは雑食性で何でも食べます。数も増えやすいので、貝類、水鳥のヒナ、水草などが減ってしまいます。

悪影響 その② 公園の周辺へ広がります！

アカミミガメは、生息数が増えると、より多くのエサやすみかを求めて周辺へと拡散していきます。

水路や陸上を移動し、新天地を見つけると、その場所で繁殖してまた増えていきます。メスは一回に20個以上産卵します。放っておくとあなたの公園がアカミミガメの発生源になり、生態系への被害を拡大させます。



カメの捕獲数(都立石神井公園, 2007)
外来カメの割合が高く、そのほとんどはアカミミガメでした。



公園の大事な自然を守るために、アカミミガメを駆除したいと思っただけではありませんか？水中にいるアカミミガメはなかなか捕れませんが、4月から7月には、産卵しに陸へ上がってくる親ガメや、孵化して地面を這っている子ガメを簡単に捕まえることができます。来園者に協力してもらい、園内で繁殖しているアカミミガメを回収しましょう！

始めよう！アカミミガメの防除

準備を
しましょう

効果的な防除期間は4～7月

- ①防除啓発ポスター（A3版片面カラー刷）を印刷します。
- ②ポスターの空欄に、連絡先と電話番号を記入します。
- ③カメ識別シート（A4版両面カラー刷）を公園の窓口に備え置きます。
- ④外来カメの保管や処理方法を想定し、必要な道具を用意します（本誌p.5～7）

ポスターやカメ識別シートの最新版は以下のサイトから入手できます。
ポスターは掲示場所に応じて印刷サイズを変更して下さい。
<http://www.eco-works.gr.jp/> または 生態工房 検索

防除ツール
3種の神器



1

園内にポスター
を掲示する



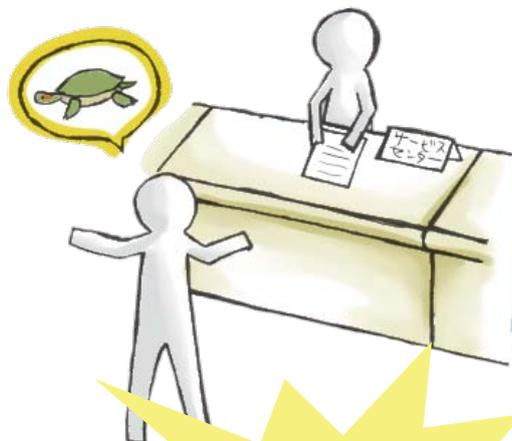
2

来園者からの
通報を待つ…



3

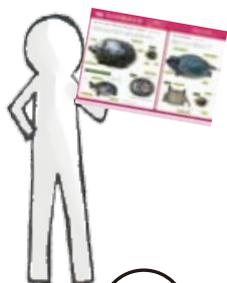
「カメ発見」の
通報が来る！



それでもカメの種類がわからないときは、
詳しい人に画像を送り識別を依頼しましょう。

■撮影のポイント

- ・甲羅の形や色がわかる
- ・横顔や手足の模様がわかる
- ・できれば裏側も撮る



5

色や大きさには個体差
があります。
識別シートを見て、その
種に固有の特徴を確認
してください。



4

識別シートを持って
現場へ急行！



在来種

6

そのまま放置する
カメは産卵や移動の状態です。
そっとしておいてください。



ゴール

6

外来種

カメを回収する
本誌p.5へ



7

カメを処分する
本誌p.6~7へ

ゴール



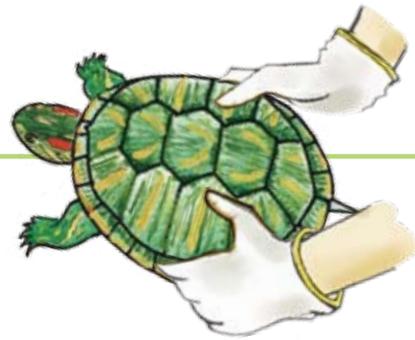
外来カメを正しく持つ

アカミミガメは、咬むんです！

野生化しているアカミミガメは、飼い慣らされたものとは違い、捕まえると素早い動きで咬みつこうとします。咬まれると、ペンチで強く挟まれたようで危険です。水に戻してそっとしないと、なかなか離してくれません。

またカミツキガメは、体が大きく首が長いので、扱いを誤ると咬まれる可能性があります。大きなカメも、落ち着いて適切な持ち方をすればケガをすることはありません。

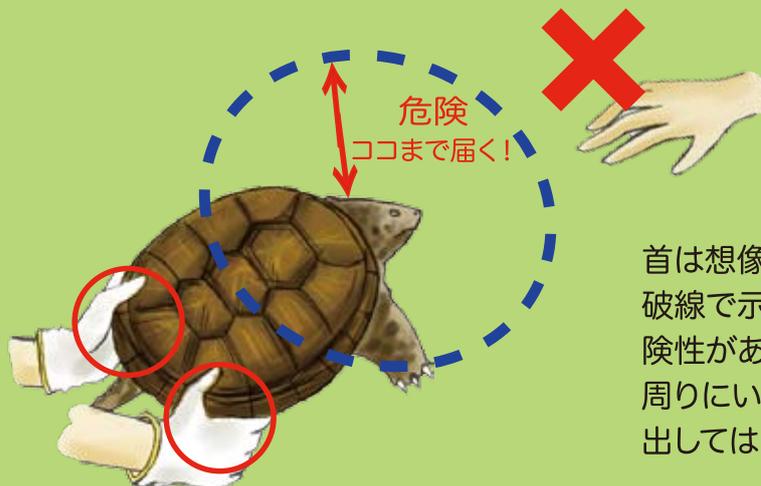
カメの持ち方



- ① ゴム・革・軍手などの厚い手袋をはめ、鋭い爪によるケガを予防します。ぬれていると滑りやすいので、気をつけてください。
- ② 甲羅の縁をつかんで持ち上げ、容器や袋に入れます。

カミツキガメの場合

- ① 厚い手袋をはめ、爪によるケガを予防します。
- ② 後ろ足から尾の付け根あたりを、足と甲羅ごと、両手でしっかりつかみます。足の力が強いけど、ひるまない！中途半端な持ち方はケガのもとです。



首は想像以上に素早く伸びます。破線で示した範囲は、咬まれる危険性があります。周りにはいる人は、危ないので手を出してはいけません。



捕まえたアカミミガメは、安楽死処置を行うか、適切な引き取り手がいれば譲渡します。

安楽死

カメをプラスチック製の衣装ケースやペット用のオリに入れ、容器ごとマイナス20度以下の大型冷凍庫(冷凍ストッカー)に収容します。約24~48時間後に取り出し、終末処分します。

大型冷凍庫は5万~20万円で購入できます。何年も使えるので、予算のあるときに用意しておくといでしょう。使用頻度が低そうなら、いくつかの現場で共有するのも一案です。大学や研究機関と協力体制をつくり、回収したカメを研究試料として引き取ってもらうなどの連携も検討してみてください。



譲渡

安楽死をさせない方法

アカミミガメの飼育には規制がないので、里親を見つけて譲渡することができます。

ただし、カメの寿命は約30年。里親が見つかって、将来的に飼育者が代わったり、飽きられて捨てられるかもしれません。安楽死処置を回避するために、安易にカメを斡旋するべきではありません。譲渡者は譲渡先に対して、厳格な個体管理や、適正な飼養条件の確認を行いましょう。

また、譲渡するまでの間は、カメを適正に飼育しておかなければなりません。譲渡する場合には、こうしたコストやリスクを認識した上で、譲渡することが妥当かどうかを十分に検討してください。

カミツキガメに素早く対処!

外来カメのうち、カミツキガメは外来生物法により「特定外来生物」に指定されています。生きているカミツキガメは、飼育・保管・運搬・譲渡が禁止されています。違法状態にならないよう、留意して対処してください。

迅速な処置ができないときは、最寄りの警察署、都道府県の実環境部、環境省外来生物対策室などに相談してください。



外来カメを処分する

① 安楽死・譲渡



安楽死処置をした外来カメは、埋葬か廃棄をします。特定外来生物のカミツキガメも、死体であれば、保管・運搬・譲渡をしても問題ありません。

外来カメを処分する

② 終末処分

終末処分

埋葬

土に埋めて自然に還す方法です。カメが入る大きさの穴を掘り、安楽死させたカメを埋めます。深さは20cm程度で十分です。埋葬場所がタヌキなどの哺乳類に掘り返されることがあります。板などで大きめのフタをし、掘り返しを防いでください。

廃棄

ゴミとして廃棄する方法です。一般ゴミまたは事業系ゴミとして廃棄します。各自治体の分別や廃棄物処理基準に従ってください。

カメは土に還るの？

カメの甲羅や骨は有機物。林の土に浅く埋めておくと、昆虫や土壌動物の分解作用で土に還ります。夏期であれば、1ヶ月程度でカメの原型がなくなります。

慰霊祭

人間によって駆除される外来生物と、彼らによる被害を受けている在来生物を慰霊しましょう。年に一度は慰霊の日を設け、弔意を形に示すとよいでしょう。こうした機会を通して、従事者が防除の目的を再認識し、防除によって目指す将来像を確認することも大切です。



コラム カミツキガメは 凶暴なの？



夜行性で、普段は水から出て来ない。人が近づくと、警戒して深みへ逃げていく…。そんなおとなしいカミツキガメも、人に捕まると様子は一変。威嚇して咬みつこうとします。こんな映像を見た人は、カミツキガメを「人を襲う凶暴なカメ」だと思うかもしれません。しかし、原産地のアメリカでは、カミツキガメは危険な動物だとは見なされていません。おとなしい動物が、追いつめられたときに威嚇をするのは当たり前のことです。

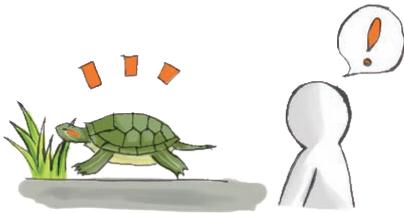
日本では、カミツキガメは、捨てられてしまった不憫な生きものです。生態系に被害を与える外来生物として駆除対象になっていますが、怒らせて物を咬ませたり、ストレスのかかる状況で保管するなどの虐待はしないでください。



アカミミガメを減らすには、① 繁殖を防ぐ(繁殖抑制)、② 捕まえて減らす(捕獲駆除)③ ペットの遺棄や導入を防ぐ(普及啓発)、の3つの方法があります。防除を成功させるには、この3つにバランスよく取り組むことが大切です。すぐに3つのすべてを実施できない場合には、どうか2つを実施できるように考えてみてください。

防除方法の組み合わせ

野外のアカミミガメを減らす 3つの取り組み



【内容】

- 来園者からの通報による、外来カメの回収
- ・比較的簡単・安価
- ・水中にいるカメは捕れない

繁殖抑制

次善の策

次善の策

理想的な
取り組み

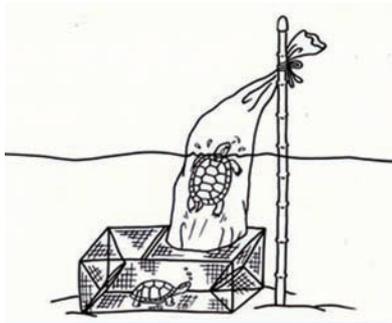
捕獲駆除

普及啓発

次善の策

【内容】

- 水中へのワナ設置による捕獲
- ・資材や人件費のコストがかかる
- ・外来カメを減らすのに最も有効



【内容】

- 新たな捨てガメ防止の呼びかけ、防除の意義の周知
- ・比較的簡単・安価
- ・すでに公園に生息しているカメの数は減らせない



外来カメ回収ポスターの掲示例(都立石神井公園)



防除からその先へ

アカミミガメ防除は通過点。生きものが豊かな水辺環境を回復しましょう。

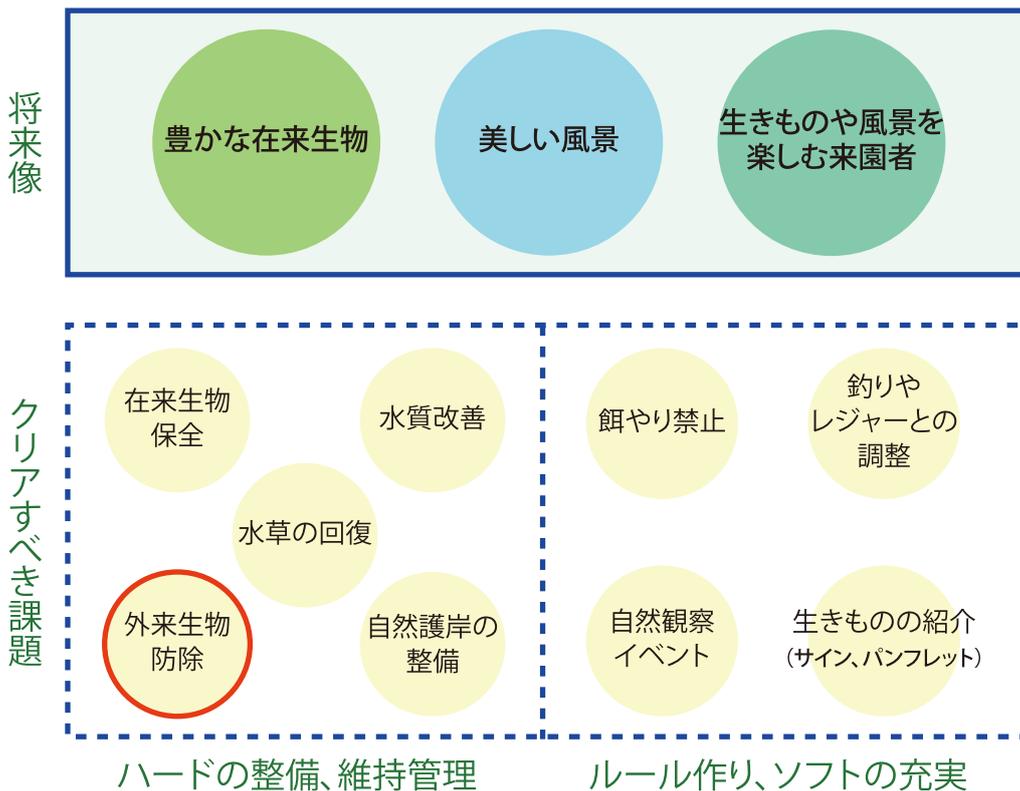
公園緑地に求められる機能のひとつに、「生物多様性の保全」が挙げられるようになりました。特に自然環境の消失が著しい都市部において、公園緑地は、在来の動植物にとってかけがえのない生息地です。来園者にとっても、身近な場所で自然に親しみ学べるということが、公園緑地の大きな魅力になっています。

単に目を楽ませるだけのみどりから、地域の生物多様性を支える自然へ。現代の公園緑地の自然に求められることは、時代と共に大きく変化しています。



公園緑地の自然は、外来生物のほかにもさまざまな課題を抱えています。防除だけで生物多様性が守られるわけではありません。防除は、生物多様性を回復していく上での通過点であり、達成すべきひとつの目標だと考えてください。

そして将来、あなたの公園緑地ではどのような自然を再生したいのか、将来像を関係者や来園者と共有しましょう。





Q. 飼っているカメを放しても良いのですか？

A. ペットの遺棄は50万円以下の罰金になります！

捨てカメに対しては、道徳の問題ではなく、動物愛護管理法違反として対処しましょう。実際には、見ている前では遺棄しません。新たにアカミミガメが発見されたら、違法行為の情報提供を求める掲示を行うなど、しっかり公園を管理している姿勢を示してください。

何よりも大事なのは、実際に防除を行うこと。カメを捨てても防除されるということが認知されれば、遺棄の抑止になります。



Q. 外来生物法に違反するとどうなりますか？

A. 厳しい罰則が適用されます。

生態系や農林水産業、人の生命や健康等に多大な影響を及ぼす外来生物は、「特定外来生物」に指定され、飼育、栽培、保管、運搬、譲渡、野外へ放つ・植える・まくなどの行為が禁止されています。違反すると、法人では1億円以下、個人では300万円以下の罰金が科されるほか、防除費用を負担させられる場合があります。



Q. 要注意外来生物を駆除してよいのですか？

A. 特定外来生物と同様に防除することが望まれています。

防除に消極的な自治体が、ときどき「要注意外来生物は駆除できない」と説明をしているのは誤りです。要注意外来生物は、流通や野外への放出について、被害防止の観点から国が注意を喚起しています。多くの公園緑地で、ミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニ、セイタカアワダチソウなどの要注意外来生物の防除が行われています。



Q. 外来カメの捕獲に許可は必要ですか？

A. 公園緑地の規則に従ってください。

外来カメという動物を捕獲することに許可は要りませんが、場所に対しては規制があるかもしれません。多くの公園では、動植物の採集を禁止しています。NPO等が捕獲を行う場合には、管理者と相談して、禁止行為の適用除外を受けるなどしてください。

カミツキガメ(特定外来生物)が定着していると考えられる場合には、環境省から防除の確認・認定を受けておくと生きたまま一時保管や運搬を行うことができ、現場の作業がやりやすくなります。



Q. 防除をすると来園者から苦情が出そうです

A. 多くの市民は外来生物の防除を願っています。

環境省のアンケート調査(2011)では約8割、内閣府の世論調査(2007)では約9割の人が外来生物の駆除を支持しています。当会が都内で行った調査でも同様の結果が得られました。

外来生物の防除は大多数の合意が得られていますが、ポスターなどによる普及啓発を積極的に行いましょう。



防除の相談

この手引きは、今いるアカミミガメがこれ以上に増えないように、産卵のために上陸したメス親と、孵化した子ガメの駆除方法を解説したものです。水中にたくさんいるアカミミガメを減らして自然を回復するためには、他の方法も併用して捕獲してください。

生態工房ではアカミミガメ防除や、水辺環境の保全回復事業を行っています。どうぞお問い合わせください。



この手引き書、ポスター、識別シートの最新版は
生態工房のウェブサイトから入手できます。

ポスターやカメ識別シートの最新版は以下のサイトから入手できます。

ポスターは掲示場所に応じて印刷サイズを変更して下さい。

<http://www.eco-works.gr.jp/>

生態工房 検索

外来生物法については

環境省外来生物対策室までお問い合わせください。

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館

TEL:03-3581-3351(代表)

発行・問い合わせ

認定NPO法人 生態工房

住所：〒167-0054 東京都杉並区松庵3-38-14 尾崎ダイヤビル2D

電話・ファクス：03-3331-5004

E-mail : info@eco-works.gr.jp